2011年12月21日

各　位

会 社 名　　株 式 会 社 キ ャ ン バ ス
代表者名　　代 表 取 締 役 社 長　河 邊　拓 己
（コード番号：4575　東証マザーズ）
問合せ先　　取 締 役 最 高 財 務 責 任 者 兼 管 理 部 長
加登住　眞（電話 055-954-3666）

CBS9106 米国特許成立のお知らせ

当社が創出し開発中の抗癌剤候補化合物CBS9106について、2011年12月27日付で米国特許（特許番号第8,084,454号）が発行される旨の通知を米国特許商標局（USPTO）から受領しましたので、お知らせします。

【発明の名称】　COMPOUNDS WITH ANTI-CANCER ACTIVITY（抗癌活性を有する化合物）
【特許権者】　株式会社キャンバス

本特許は、当社独自の細胞表現型スクリーニングを用いて創出した抗癌剤候補化合物CBS9106を含む類縁低分子化合物群に対する物質及び用途特許です。

CBS9106は、核外輸送因子 CRM1※1を可逆的に阻害し、多発性骨髄腫を含む幅広い癌細胞株に対して細胞周期停止およびアポトーシスを誘導する低分子化合物であり、これまでに実施した培養細胞による試験において、既存のCRM1非可逆的阻害剤であるレプトマイシンBに比べて毒性が低いことが明らかになっています。さらに、モデル動物を用いた試験においても、経口投与により腫瘍増殖抑制及び生存期間延長効果を示すとともに、毒性が低いことを示唆するデータが得られています。

当社は、CBS9106は有望な新規クラス※2の抗癌剤候補化合物であると考えており、現在はCBP501に続く2つめの開発パイプラインとして前臨床試験※3を進めています。

米国における特許の権利期間は原則として出願日（本特許の出願日は2008年4月11日）から20年ですが、本特許には637日間の特許期間調整※4が付されております。なお、医薬品については特許延長制度があるため、この期限は延長される可能性があります。

また当社は、本特許について、欧州主要国・日本などに対してもPCT出願中です。

当社代表取締役社長 河邊拓己は、次のとおりコメントしています。

「本特許成立は、当社独自の細胞表現型スクリーニングの創薬能力の高さと、当社の研究・特許戦略の確かさを裏付けるものです。当社は、本特許の源泉となったG2チェックポイント阻害に関する知見を活かし、今後も企業価値の向上に努めてまいります。」

なお、本件による短期的な業績への影響はありませんが、開発の進捗や新たな提携の獲得などを通じて、中長期的に当社の企業価値の向上に寄与するものと考えています。

以　上

※1　CRM1
核外輸送シグナル(NES)をもつ輸送基質（蛋白質、mRNA-蛋白質複合体）を核から細胞質へ輸送する役割を担う、細胞内因子の一つです。CRM1により制御される輸送基質には癌関連因子（IκB、p53、FOXOs）が含まれており、これらの核外輸送を抑制することで機能を促進し、抗腫瘍効果を示すと考えられています。

※2　クラス
医薬品の領域では、同一もしくは類似した作用メカニズムを持つ薬剤群を総称して用いられます。

※3　前臨床試験
許認可当局へのIND申請（臨床試験実施申請）に必要なデータを収集するために規制当局の定めた基準に則って実施される非臨床試験を指します。

※4　特許期間調整（Patent Term Adjustment、PTA）
米国特許法第154条(b)(1)6に規定される、特許の権利期間を保証するために設けられた制度です。
USPTOの審査遅延など特許権者の責によらない事由により特許の発行が遅れた場合、実質的に存続期間が短縮され特許権者に不利となることから、その期間分を調整することを目的として導入されたものです。

《ご参考》当社の特許の状況

当社の研究開発に関する特許は、すべて自社保有のものです。その主要な特許は次のとおりです。

対象	発明の名称	国際公開番号	登録状況
薬剤スクリーニング法 オリジナルペプチドTAT-S216	G2期細胞周期停止の阻害、及びDNA損傷剤に対する細胞感作のための組成物及び方法	2001／021771	米国、欧州主要国及び日本の主要国（注）で成立しております。
CBP501及びそのバックアップ化合物群	抗増殖活性を有し、そして／又は核酸損傷剤を増大するペプチド及びペプチド模倣物あるいは処置	2003／059942	米国、欧州主要国及び日本の主要国で成立しております。
CBS2400シリーズ	DNA損傷誘発性細胞周期G2チェックポイントを排除し、そして／又はDNA損傷処置の抗癌活性を増強する化合物	2003／104181	米国で成立しており、欧州主要国、日本ほか主要国について出願中です。
CBP501及びそのバックアップ化合物群	抗真菌性ペプチド模倣物	2004／089396	米国及び日本で成立しており、欧州主要国ほか主要国について出願中です。
CBS9106をはじめとするCBS9100シリーズ	抗癌活性を有する化合物	2009／031040	米国で成立しており、欧州主要国、日本ほか主要国について出願中です。

（注）欧州主要国とは、欧州特許庁加盟国のうち、当社の特許戦略上有意義と判断し得る国を指します。
具体的には、ドイツ、スイス、英国、フランス、ベルギー、イタリアなどです。

以上